

平成29年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第2回講義

北海道の観光戦略

北海道経済部観光振興監

木本 晃 氏

木本先生からのメッセージ

- 人口減少の続く地域においては、海外を視野に入れて交流人口を増やし、消費を喚起し、稼いだお金を地域で循環させることが求められています。その手段のひとつが『観光』です。
- より喜んでもらって、より楽しんでもらって、よりお金を使ってもらう仕掛けを考えなければなりません。それは『観光』が得意とするところです。
- 広域分散型の北海道では、どの町も大都市から離れていて、サービスの担い手が不足しています。必ずしも語学が得意な人が揃っているわけではありません。システムを改善し、機械を使い、生産性を向上させる必要があります。地域は困っているのです。困っていることを解決するのが『科学技術』の役割ではないですか？
- 観光で地域を知り人が交流することで、互いに理解し合うことができます。観光が世界を平和にするのです。『観光』にみなさんのお力をお貸し下さい。

日時:

2017年4月14日

金曜日

5講目 16:30-18:00

場所:

工学研究院

オープンホール

[B-201]

木本 晃 先生

北海道出身、昭和58年北海道大学工学研究科建築工学専攻修士課程退学。

北海道入庁、建設部住宅局住宅課長、総合政策部交通政策局新幹線推進室長、同部航空局長の勤務を経験され、平成28年4月から現職。

科学技術政策で観光政策全体を俯瞰する立場で行政に従事されています。